

わくわく夏の自然体験教室「カニ釣り大作戦とミクロの世界」

実施日時：平成 28 年 7 月 24 日（日）9:00～12:10

場 所：広島県広島市佐伯区五日市町 ハ幡川河口

講 師：菊間 馨 氏（自然公園指導員）

参 加 者：32 名（大人：17 名、子ども：15 名）

天 候：曇り時々晴れ

内 容：潮の干満の差が大きく河川の多い広島には河口干潟が多く存在する。そこにはカニやプランクトンなど様々な生物が関わり合いながら生息している。カニの習性を利用したカニ釣り体験やプランクトンの観察を通して、瀬戸内海の干潟に生息する生物の生態について学んだ。

日 程：8:45～ 集合・受付

9:00～ オリエンテーション、アイスブレイク、釣り竿作り

9:30～ カニの観察・カニ釣り体験

10:45～ プランクトンの採集

11:05～ 休憩

11:15～ プランクトンの観察

11:50～ ふりかえりと分かれ合い、まとめ

12:00～ アンケート記入、解散

【実施風景】



オリエンテーション

昨年の大好評につき、今年も企画しましたカニ釣り大作戦！今年も多数ご応募いただき、32名の方にご参加いただきました。

オリエンテーションでは、関自然保護官の挨拶のあと、講師の菊間先生をご紹介させていただきました。



アイスブレイク

本日のスケジュールとルールを説明後、皆さん初対面ということもあり、自己紹介とチーム対抗で「人間知恵の輪」を行いました。はたして、皆で協力してこんがらがった輪を解けたでしょうか？



釣り竿作り

干潟へ行く前に釣り竿作り。河口に生えている葦を竿代わりに、たこ糸と重りを付けて完成。



河口干潟へ移動

まずは護岸の上から干潟にいるカニを観察。葦原の横には2種のカニがいました。



ハクセンシオマネキとチゴガニ

夏期は繁殖期。ハサミを大きく振り上げるウェービング（求愛行動と言われています）という行動が盛んに行われていました。



潮だまり

一見何も居なさそうな潮だまり。近づいてよく見ると、小さなハゼの仲間がたくさんいました。大きな魚が入れない場所の方が安全なわけですね。



釣り場へ移動

いよいよ力二釣りタイム。葦原の根元にはたくさんのアシハラガニが隠れています。



力二釣り開始！

「これなら力二が釣れそう！」とそれぞれ参加者に持参していただいたエサを付けて、制限時間 30 分で何匹釣れるか競争です。ソーセージやかっぱえびせん、中には白い布を付けて釣る方も！



力二を GET！

続々釣れました！



本日の釣果

こんなにたくさん釣れました！
アシハラ、ヒメアシハラ、ハマガニなど
一家族数十四、皆でなんと 400 匹近く
のカニが釣れました！やったね！



飼ってみたいという人は 1~2 匹を残して、
残りのカニは元の場所に返しました。



プランクトンの採集

海、川、沼など水があるところならどこにでもいる微生物“プランクトン”。普段なかなか見ることはないけれど、今日はコップに採集して顕微鏡で観察してみることにしました。

採れたかな？



プランクトンの観察

採集したプランクトンをスポイトで吸い取ってシャーレに移し、顕微鏡で観察。捕まらなかった人は事前に海で採集したプランクトンを観察しました。



「なんかいる！」



まとめ

最後に菊間先生から、プランクトンがカニやサバなど沢山の海の生きものを支えている話をいただきました。プランクトンが温暖化の影響で数が少なくなっていることも…私たちにできることは何でしょうか？



記念撮影

蒸し暑い中の自然体験教室でしたが、皆さんお疲れさまでした！急病や怪我もなく無事終了！

夏は始まったばかり。これを機会に、是非この夏、海や川で色々な生きものと触れ合っていただければと思います。